

生活科学習指導案

指 導 者 坂本 茉耶
 学習支援員 川上 光代

- 1 日 時 令和5年 11月 10日(金) 第5校時
- 2 場 所 1年生教室
- 3 学 年 第1学年 男子7名 女子9名 計16名
- 4 単元名 「あきとなかよし」
- 5 単元について

○児童観

本学級の児童は、これまで生活科の授業において季節と関わり、その特徴を楽しんだり、季節ごとの違いを見つけたりする活動を行ってきた。「なつとなかよし」の学習では、夏は春と比べて気温が高くなっていることや夏だからこそできる遊びがあることに気づき、水遊びの計画を立てて行った。季節が秋に変わり、夏に行った水遊びは寒くてできないということから、秋にも秋にしかできないことがあるのではないかと考えを膨らませている。

本学級の児童に、生活科についてのアンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。

(肯定的評価／16人中)

発見力	1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	14
	2	友達や、地域の人が、悩んでいたら助けてあげたり、応援したりしたいと思います。	14
課題解決力	3	「たぶんこうではないかな。」「こうすればできるのではないか。」と考えています。	12
	4	課題を解くために、進んで本を探したりインタビューしたりしています。	11
	5	相手のことを考えたり、伝えたいことや伝え方を選んだりしています。	11
	6	調べたことや考えたことなどを、絵などにまとめています。	15
	7	調べたことや友達の意見を比べたり、仲間分けしたりして、何が分かるか考えています。	11
	8	友達と話し合うなどして新しい考えに気付くことができています。	13
	9	自分の考えと理由を相手に分かりやすくなるように発表を工夫しています。	11
	10	自分の考えを進んで伝えています。	10
	11	みんなと話し合う時、みんなが納得のいく考えをつくらうとしています。	15
	振り返り力	12	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。
13		学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	14
	14	自分の住んでいる地域のことが好きです。	14

アンケートの結果から、おおむね肯定的な評価をする児童が多かった。特に課題発見力と振り返り力にかかわる項目については、肯定的な評価をする児童が多かった。生活科は、児童にとって身近な教科であり、身の回りの自然や地域との関わりから課題を発見してきたことが肯定的な評価につながっていると考えられる。また、振り返り力については、その日の振り返りが次の学習へとつながる経験をしたり、自分の学びを言語化することで自信をもって学習に取り組んだりしてきたことが肯定的な評価につながっていると考えられる。

しかし、課題解決力にかかわる項目において肯定的な評価をする児童が少ないものがあった。「みんなと話し合う時、みんなが納得のいく考えをつくらうとしています。」という項目については、肯定的な評価が多かったが、「自分の考えを進んで伝えています。」という項目については、少なかった。このことから、自分の考えを伝えるよりも相手の考えに合わせるということが多くなっているのではないかと考えられる。そのため、自分の考えと相手の考えをすり合わせたり、自分の考えを伝えたいことで、相手の考えの良いところを自分に取り入れたりすることができるようにしていく必要がある。

○単元観

本単元では、秋の自然を見つけたり遊んだりする活動を通して、夏との違いを見つけたり、秋の自然や恵みを味わったりすることをねらいとしている。児童は、秋を見つける活動を通して、季節による自然や生活の変化、自然と関わる楽しさに気付いていく。その気付きから様々な場面で季節の自然を取り入れて自分の生活をより楽しくしていこうとする姿が期待できる。

○指導観

指導に当たっては、課題発見力・課題解決力・振り返り力をつけるために以下の工夫を取り入れる。

課題発見力	<p>夏の学習を振り返る「夏コーナー」を設置しておくことで、秋の学習につながる。</p> <p>「夏にした水遊びを秋もしよう。」となげかけることで、夏と秋の違いや秋という季節の特徴に目を向けさせる。</p> <p>校庭で秋探しの学習を行い、校庭だけでは十分に見つけられなかったことから、校外での秋探しの学習につなげる。</p>
課題解決力	<p>夏の学習を振り返る「夏コーナー」の中に、食べ物や植物、生き物、気温などの視点を掲示し、児童が視点をもって考えることができるようにする。</p> <p>秋見つけに出かけ、自分の身の回りにある様々な秋に触れることができるようにする。</p> <p>学校探検や町探検をした際に見つけた葉っぱや実などを教室に常設しておき、児童が自由に遊べるようにしておく。</p> <p>どんぐりごまや松ぼっくりを使ったけん玉など秋のおもちゃを教室に常設しておき、児童の課題解決の助けとなるようにする。</p> <p>季節に関する本を教室に置いておき、児童が本の中からも季節を感じられるようにする。</p>
振り返り力	<p>振り返りの時には「わかったこと、わからなかったこと」「がんばったこと」「ともだちからまなんだこと」「もっとやりたいこと」という視点を与え、自分の学習状況や今後の学習を見通した振り返りとなるようにさせる。</p>

○単元の目標

秋の校庭や遊び場などで散歩したり遊んだりする活動を通して、季節が秋に変化したことに気付くとともに、木の葉や木の実などの自然物を使ってみんなで工夫して生活に役立つものを作ったり、遊びに使うものを作ったりして、楽しむことができるようにする。

6 評価規準

評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元 の 評価 規準	<p>①夏から秋への自然の様子が変化していることに気付いている。</p> <p>②植物や生き物の様子が変化していることや、人々の生活が変わっていることに気付いている。</p> <p>③公園など公共の場を使う際にルールやマナーを守ることの大切さに気付いている。</p> <p>④友達と伝え合うことを通して、秋らしさや自然の変化に気付いている。</p>	<p>①身の回りで感じられる季節の様子や変化について考えたり、予想したりしている。</p> <p>②木の実や落ち葉などをじっくり観察したり、比べたりして、秋の特徴を捉えたり、秋らしさを考えたりしている。</p> <p>③身近な自然を観察したり、関わったりすることを通して、季節による変化や特徴を見つけ、それらを利用した遊びを考えている。</p> <p>④秋の自然物を使って遊ぶものや飾るもの、生活に役立つものなどを自分の思いをもって作っている。</p>	<p>①身の回りに感じられる季節の様子や変化に関心を持ち、それらを見つけたり活用したりしようとしている。</p> <p>②秋の植物や生き物に関心を持ち、公園、野原、校庭の様子の変化を探そうとしている。</p> <p>③季節による変化や季節の特徴について発見したことや感じたことを友達に伝えようとしている。</p> <p>④友達の良さを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。</p>

7 単元におけるルーブリック（思考力・判断力・表現力等）

	A	B	C
項目	比べたり、試したり、見立てたりしながら、秋の自然物を使って遊ぶものや飾るもの、生活に役立つものなどを自分の思いをもって作っている。	秋の自然物を使って遊ぶものや飾るもの、生活に役立つものなどを自分の思いをもって作っている。	秋の自然物を使って遊ぶものや飾るもの、生活に役立つものなどを自分の思いをもって作っていない。

8 学習過程ごとの主な学習活動 (全16時間)

★=立ち止まりポイント

(本当にこれでいいのか、壁にぶつかったときどうすればいいのか考える場面)

時数	学習過程ごとの主な学習活動
1	<p>【10月】</p> <p>○単元の見通しをもつ。</p> <p>★夏の水遊びを思い出し、秋や冬も同じ遊びで楽しめそうか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節にあった遊びがあることに気付き、秋を楽しもうとする。 <p>単元のテーマ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">秋を楽しもう。</div> <p>○秋について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋を楽しむためにも秋についての考えを深める。 <p>課題： 秋といえばどんなものがあるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋といえばどんなものがあるか、どんなイメージか、気温はどうかなど春や夏と比べて考える。 ・夏の学習を振り返る掲示物をもとに、どんな生き物がいるか、どんな植物があるかなどを考える。 ・出たものを分類し、思考を深める。 食べ物…さつまいも、柿、梨、栗、秋刀魚、ぶどう、りんご、無花果、松茸 など 植物…どんぐり、いちじく、もみぢ、銀杏、落ち葉、キンモクセイ、まつぼっくり、コスモス、オナモミ など 生き物…ウマオイ、マツムシ、コオロギ、スズムシ、クツワムシ、トンボ など 気温…半袖か長袖か迷う、太陽の力が弱まる、涼しくなる など <p>○秋について考えたことを次の学習へつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋について出し合ったものを見て、何がしたいか考える。 <p>例落ち葉を集めて飛び込んでみたい。虫を探しに行きたい。 今日話したものを集めて、おもちゃを作りたい。涼しい中を思い切り走りたい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="367 1534 853 1848" style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>あきといえば…</p> <p>①だんご ②さつまいも ③もみぢ ④なべ ⑤くりごはん ⑥いちじく ⑦はっぱ ⑧ころもがね ⑨かき ⑩とんぼ ⑪だいこん ⑫なし ⑬ゴッソリ ⑭あきのはっぱ ⑮りんご ⑯くもが てきている ⑰はった ⑱ぎんなん ⑲あきまつり</p> </div> <div data-bbox="869 1534 1356 1848" style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>あきといえば…</p> <p>①くり ②どんぐり ③まつぼっくり ④かきは ⑤かき ⑥かき ⑦はった ⑧かきいも ⑨はっぱ ⑩なし</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="367 1859 853 2038" style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>あき！こんなことをしたいな。</p> <p>いろいろなはっぱをあげて かみには、てとぶつつかみ たい</p> </div> <div data-bbox="869 1859 1356 2038" style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>あき！こんなことをしたいな。</p> <p>みんなであそびには、はっぱ めくをくりたいです。</p> </div> </div>

最近、涼しくなってきたね。

夏から秋に季節が変わっているよ。

今、水遊びをしたら風邪ひいちゃう！

→ この日の放課後

どんぐりがお金だよ。
これください！

はい、どうぞ。

せっかく秋のことを勉強したから、
秋のものを探してみようよ！

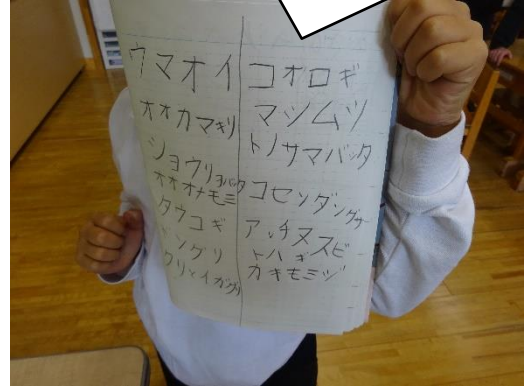
カマキリ発見！



→ ある日の休憩時間

教科書に載っていた秋のものを書いてみたよ。

帰り道に
拾ったどんぐりを
描いてみたよ。



1

○前時にやりたいと思ったことを実現させるために身近にある秋を見つける。

課題： 校庭に秋を探しに行こう。

○校庭で秋を探す。見つけた秋で宝箱に入れることができるものは入れておく。

- ・春や夏に校庭探検や水遊びをしたときのことを思い出し、そのときと何が違うか考える。
- ・見つけたものや感じたことを絵や文でメモしておく。

例 緑色だった葉っぱが、茶色になっている。

夏より涼しくて、探検しやすい。

春や夏に咲いていた花がなくなっている。





- 1 ○見つけた秋を出し合う。
- ・出たものを分類し，思考を深める。
 - 植物…どんぐり，落ち葉 など
 - 生き物…コオロギ，トンボ など
 - 気温…涼しくて探検しやすかった など

★校庭での秋見つけを振り返り，十分に秋を見つけられたか考える。

例春や夏と比べていろいろな秋が見つけた。
 友達が自分とは違うものを見つけていて面白かった。
 虫があまりいなかった。
 植物があまりなかった。
 もっとたくさん秋があるところに行ってみたい。

- 1 ○より多くの秋を見つけるために計画を立てる。

課題： **神石高原ティアガルテンに秋を探しに行こう。**

- 1 ○校外学習のルールを確認し，計画を立てる。

- ・校外に秋を探しに行く際に，気をつけるべきことを考える。

例自分勝手に行動しない。
 話をよく聞く。
 交通ルールを守る。
 大声で騒いで，周りの人の迷惑にならないようにする。

- 2 ○神石高原ティアガルテンで秋を探す。見つけた秋で持ち帰ることができるものは，持ち帰る。

- ・見つけたものや感じたことを絵や文でメモしておく。

例校庭よりたくさん秋がある。
 茶色や黄色，赤，オレンジの葉っぱが多い。
 たくさん虫がいる。これは，何という名前の虫かな。

葉っぱの
シャワー！



- 1 ○学校に帰り，見つけた秋を出し合う。

- ・出たものを分類し，思考を深める。
- 植物…どんぐり，いちょう，もみじ，銀杏，落ち葉，まつぼっくり，コスモス など
- 生き物…ウマオイ，マツムシ，コオロギ，スズムシ，クツワムシ，トンボ
- いろいろな虫の鳴き声がした など

1

○見つけて持って帰った実や葉などをじっくり観察する。

・同じもの同士を比べて観察し、違いに気付く。

例 細いどんぐりと太いどんぐりがある。

茶色くて大きな葉っぱもあるし、黄色くて小さな葉っぱもある。

いろいろな葉っぱの形がある。

・形、色、触り心地、大きさ、匂いなどの観点から観察する。

例 どんぐりは、つるつるしているところとざらざらしているところがある。

僕の手ぐらい大きな葉っぱがあった。

この葉っぱは、ただの茶色ではなくて、黄色や赤が混ざっている。



【11月】

2

○見つけた秋で遊んでみることで、次の学習へつなげる。

例 どんぐりを転がすと楽しい。コースを作ってみたらもっと楽しいかも。

どんぐりを紙コップに入れてふると音ができる。マラカスにできるかも。

まつぼっくりをあそこに当てられた方が勝ち。的をつくるともっと楽しいかも。

落ち葉を集めたらドレスを作れそう。

この落ち葉お面みたい。

とんとん相撲をしたいんだけど…
あまり動かないなあ。

葉っぱを下に敷いたら
動いた！

空き箱があると
もっと良いかも！



もっと大きなコースを
作りたいな。

どんぐりを回して
遊びたいな。



2 ★工夫しながら遊んだり，試行錯誤しながら作りたいものを作ったりする。（本時）

例 細いどんぐりと太いどんぐり，どちらが早く転がるのだろう。
けん玉を作ってみただけ，ひもが短すぎたから長くしてみよう。
お面を作りたいから輪ゴムが必要だな。先生に頼んでみよう。



2 ○友達と一緒に遊ぶことを通して，より楽しく遊べるように考えたり，工夫したりする。

例 僕のどんぐりと友達のどんぐりどちらが早く転がるかな。
友達のマラカスは，私のマラカスよりどんぐりの量が少ないのに良い音がする。真似してみよう。

1 ○単元のテーマ「秋を楽しもう」を思い出し，振り返りを書く。

・単元を通して「わかったこと，わからなかったこと」「がんばったこと」「ともだちからまなんだこと」「もっとやりたいこと」という視点から振り返りを書く。

例 同じものでもいろいろな遊び方ができることが分かった。

友達と一緒に遊べて楽しかった。また遊びたい。

秋にしかできない遊びがあることが分かった。

冬にしかできない遊びもあるかもしれないからやってみたい。

9 本時の学習

(1) 本時の目標

秋の自然物を使って遊ぶものや飾るもの、生活に役立つものなどを工夫して作ったり、自然物の形状から様々な発見をしたりして秋を楽しむことができる。

(2) 本時の評価規準

秋の自然物を使って遊ぶものや飾るもの、生活に役立つものなどを自分の思いをもって作っている。

(3) 準備物

〔指導者〕 秋についての本、材料、道具

〔児童〕 材料、道具

(5) 学習の展開 (12 / 16 時間)

学習活動 ○指導者 ・ 予想される児童の発言	・ 指導上の留意事項 ○評価規準および判断基準 (方法)
<p>1 前時の学習を振り返る。(2分)</p> <p>○前の時間には、何をしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋見つけで集めたものを使って何をしたいか考えた。 ・ 考えたことを今日はやってみたい。 <p>2 課題設定 (1分)</p>	
<p>かんがえたものをつくったり、つくったものであそんだりしよう。</p>	
<p>3 自分の考えたものを作成する。(37分)</p> <p>4 振り返りをする。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太いどんぐりの方がどんぐりごまは、作りやすかった。 ・ うまくできなくて諦めそうになったけど、諦めずに挑戦することができた。 ・ ○○さんが、どんぐりがおちないようにテープで止めていて工夫していると思った。 ・ 今日うまく作れなかったところを次の時間に作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が様々な方法を試したり、想像を膨らませたりすることができるように、材料の種類や量を十分に用意しておく。 ・ どんぐりごまや松ぼっくりを使ったけん玉等、見本や参考となるものを置いておき、児童の課題解決の助けとなるようにする。 ・ 児童が試行錯誤している姿を捉え、全体に共有することで児童の思考を深める。 ・ 想像したものをうまく作ることができない児童がいた場合、全体にどうすればできるか問いかけ、児童の思考を深める。 <p>○秋の自然物を使って遊ぶものや飾るもの、生活に役立つものなどを自分の思いをもって作っている。(発言・行動観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「わかったこと、わからなかったこと」「がんばったこと」「ともだちからまなんだこと」「もっとやりたいこと」という視点で振り返りをさせる。

